

スーパーマーケット販売統計調査

7月実績速報版・6月実績確報版(パネル 306)

- 速報版(パネル 306)について ※2013年4月実績よりパネル企業変更
毎月「同一企業 306 社(パネル)」を対象として集計します。
- 確報版(パネル 306)について ※2013年4月実績より集計定義を変更
前月に集計した速報版(パネル 306)について、より精度の高い集計を行い、
改めて確報版として公表します。

【集計項目】

- 商品分類別売上高:全店売上高(万円)・構成比(%)・全店・既存店前年同月比(%)
 - エリア別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
 - 保有店舗別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
 - 集計企業数、総店舗数、総売場面積
 - 既存店総売上高(万円)、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高
- ※前年同月比(全店):前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較
- ※前年同月比(既存店):前年同月と当月共に営業の店舗における比較

スーパーマーケット販売統計調査における商品分類

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜		惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタベーカーリー、ファーストフード
		日配		豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム
	一般食品		調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類	
	非食品		日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具	
	その他		テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)	

スーパーマーケット販売統計調査におけるエリア分類

北海道・東北エリア	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
首都圏エリア	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
東海エリア	岐阜、静岡、愛知、三重
北信越エリア	福井、石川、富山、長野、新潟
関西エリア	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国エリア	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄エリア	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

2013年8月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2013年8月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2013年7月実績 速報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	79,543,631	100.0%	101.1%	99.1%
食品合計	69,273,985	87.1%	101.9%	99.4%
生鮮3部門合計	25,054,395	31.5%	103.1%	100.7%
青果	10,275,982	12.9%	104.4%	101.9%
水産	7,092,111	8.9%	101.5%	99.0%
畜産	7,686,302	9.7%	103.0%	100.5%
惣菜	7,310,452	9.2%	103.4%	100.6%
日配	15,225,543	19.1%	101.2%	98.7%
一般食品	21,683,595	27.3%	100.4%	98.0%
非食品	6,332,647	8.0%	97.4%	96.4%
その他	3,936,999	4.9%	98.2%	98.6%

エリア別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	12,834,776	50	101.4%	98.6%
首都圏エリア	30,204,635	89	102.3%	99.2%
北信越エリア	5,293,033	28	100.1%	99.2%
東海エリア	4,091,957	33	98.4%	99.7%
関西エリア	16,715,043	38	100.6%	99.4%
中国・四国エリア	6,057,288	39	99.9%	98.4%
九州・沖縄エリア	4,346,901	29	99.7%	99.4%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	963,933	64	97.5%	96.5%
4~10店舗	4,096,011	86	96.2%	98.2%
11~25店舗	11,592,691	76	99.4%	97.8%
26~50店舗	15,600,982	42	104.5%	98.4%
51店舗以上	47,290,015	38	101.0%	99.7%
集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	77,277,524	
総店舗数 (店舗)	7,167	店舗平均月商 (万円)	11,099	
総売場面積 (㎡)	11,480,178	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.9	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2013年8月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2013年6月実績 確報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	78,130,804	100.0%	102.5%	100.4%
食品合計	67,619,797	86.5%	102.7%	100.1%
生鮮3部門合計	24,528,972	31.4%	102.1%	99.6%
青果	10,100,141	12.9%	100.8%	98.4%
水産	6,672,606	8.5%	101.6%	99.2%
畜産	7,756,225	9.9%	104.1%	101.6%
惣菜	6,951,033	8.9%	103.6%	100.9%
日配	15,046,982	19.3%	102.7%	100.3%
一般食品	21,092,811	27.0%	103.1%	100.4%
非食品	7,335,102	9.4%	104.7%	103.1%
その他	3,175,904	4.1%	100.9%	100.9%

エリア別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	12,617,737	50	104.7%	100.8%
首都圏エリア	29,489,905	89	103.9%	100.7%
北信越エリア	5,187,770	28	102.1%	101.0%
東海エリア	4,105,174	33	97.3%	98.2%
関西エリア	16,623,628	38	100.6%	99.7%
中国・四国エリア	5,869,432	39	100.8%	100.2%
九州・沖縄エリア	4,237,157	29	103.7%	101.7%

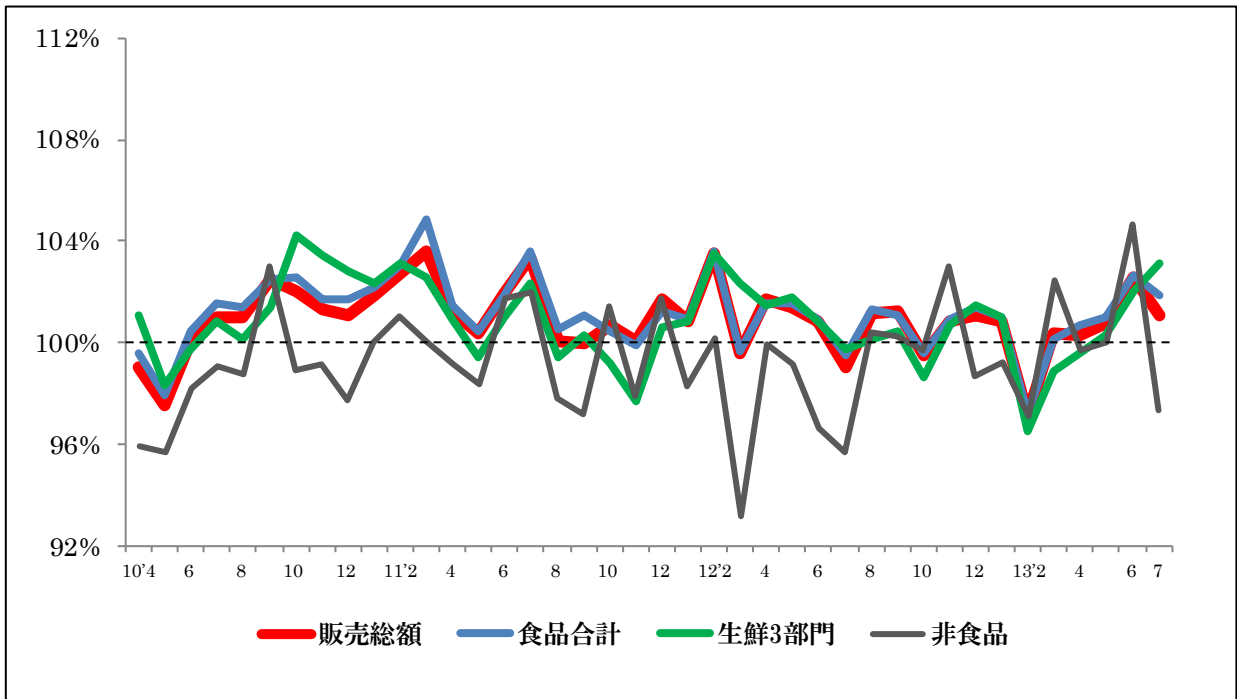
保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	947,552	64	96.7%	97.2%
4~10店舗	4,343,127	88	97.1%	98.2%
11~25店舗	11,215,043	74	101.1%	99.6%
26~50店舗	15,106,584	42	106.7%	100.5%
51店舗以上	46,518,498	38	102.2%	100.8%
集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	75,589,427	
総店舗数 (店舗)	7,151	店舗平均月商 (万円)	10,926	
総売場面積 (㎡)	11,460,418	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2013年7月(全店ベース対前年同月比)

販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品

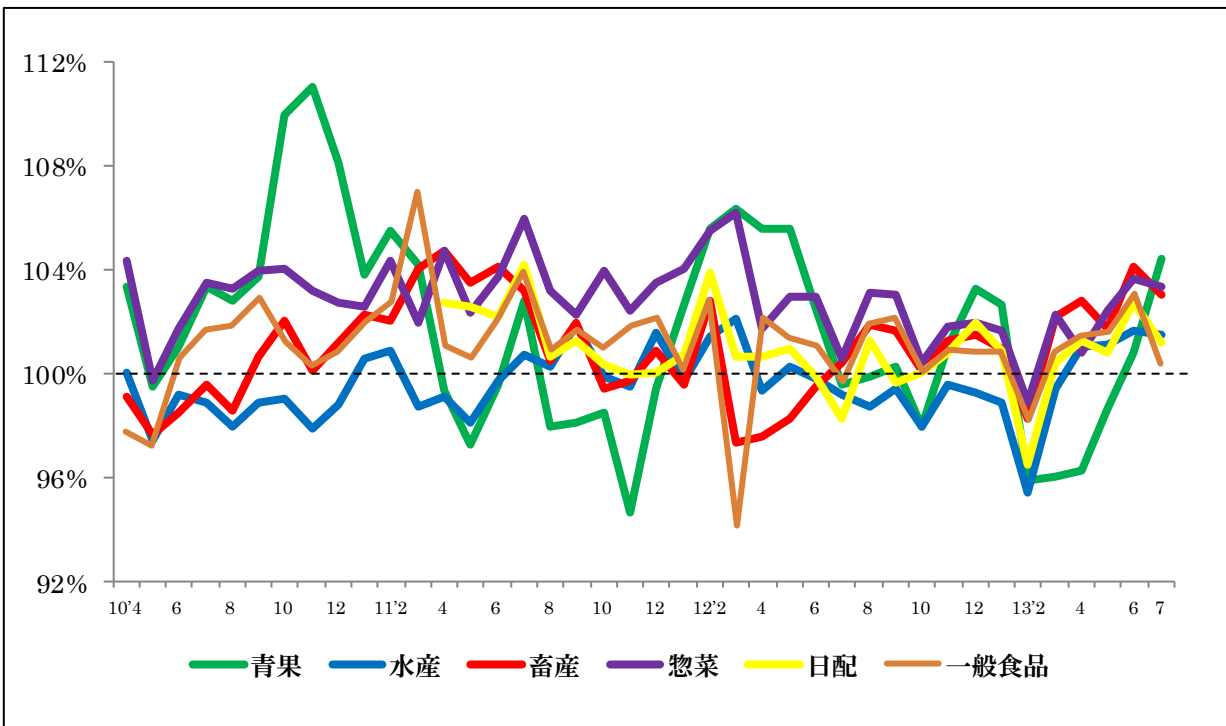


※2010年4月～2013年6月までは確報版による前年同月比、2013年7月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2013年7月(全店ベース対前年同月比)

青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2013年6月までは確報版による前年同月比、2013年7月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

エリア別気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

①平均気温

2013年7月(平年との比較)

上旬、中旬で全国的に平年に比べ気温の高い地域が多くなった

前年同月(2012年7月)と比較

上旬は前年に比べかなり気温が高くなった

	平年との比較(°C)						今年と前年との差(°C)		
	2013年7月(今年)			2012年7月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	3.9	1.4	0.6	1.6	-0.4	1.0	2.3	1.8	-0.4
東北地方	2.7	-0.3	-1.2	0.7	0.7	0.7	2.0	-1.0	-1.9
関東甲信地方	2.1	1.5	-0.2	-0.1	1.6	0.7	2.2	-0.1	-0.9
北陸地方	3.3	1.3	0.0	0.0	2.3	1.4	3.3	-1.0	-1.4
東海地方	1.7	1.6	0.5	-0.3	1.2	0.6	2.0	0.4	-0.1
近畿地方	1.9	1.2	0.6	-0.5	1.5	1.0	2.4	-0.3	-0.4
中国地方	2.5	2.0	1.1	-0.4	1.8	1.5	2.9	0.2	-0.4
四国地方	1.3	1.7	1.2	0.0	0.6	0.8	1.3	1.1	0.4
九州北部	1.9	2.0	1.5	-0.2	0.6	0.9	2.1	1.4	0.6
九州南部・奄美地方	1.2	0.9	1.3	0.1	0.2	0.2	1.1	0.7	1.1

平年差



前年差



②日照時間

2013年7月(平年との比較)

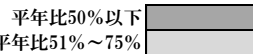
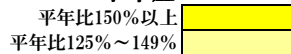
中旬で全国的に平年に比べ日照時間が長くなった

前年同月(2012年7月)と比較

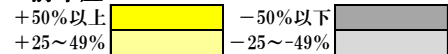
前年と比べ、上旬でやや長くなり、中旬は西日本でやや長く、下旬は全国的に短かった

	日照時間 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2013年7月(今年)			2012年7月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	119	165	79	76	144	115	43	21	-36
東北地方	84	91	32	111	106	111	-27	-15	-79
関東甲信地方	126	152	73	99	122	111	27	30	-38
北陸地方	119	128	68	89	139	122	30	-11	-54
東海地方	139	144	85	99	110	117	40	34	-32
近畿地方	137	152	85	93	120	127	44	32	-42
中国地方	123	169	93	83	116	140	40	53	-47
四国地方	117	162	98	87	78	130	30	84	-32
九州北部	103	188	81	85	67	126	18	121	-45
九州南部・奄美地方	120	159	101	92	66	114	28	93	-13

平年差



前年差



③降水量

2013年7月(平年との比較)

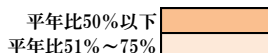
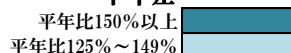
平年に比べ全国的に降水量が少なかったが、東北地方、北陸地方は多くなった

前年同月(2012年7月)と比較

前年に比べ、上旬、中旬でかなり少なく、下旬はやや多い地域が多かった

	降水量 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2013年7月(今年)			2012年7月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	114	3	122	71	135	38	43	-132	84
東北地方	131	208	214	125	110	30	6	98	184
関東甲信地方	34	38	112	131	79	32	-97	-41	80
北陸地方	122	78	413	165	69	87	-43	9	326
東海地方	41	24	99	155	78	21	-114	-54	78
近畿地方	64	32	71	190	88	22	-126	-56	49
中国地方	112	42	109	172	75	10	-60	-33	99
四国地方	84	19	34	114	109	22	-30	-90	12
九州北部	90	5	55	99	241	33	-9	-236	22
九州南部・奄美地方	21	4	5	141	249	36	-120	-245	-31

平年差



前年差



気象庁ホームページより引用
 平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均
 スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

8月調査結果(7月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2013年8月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

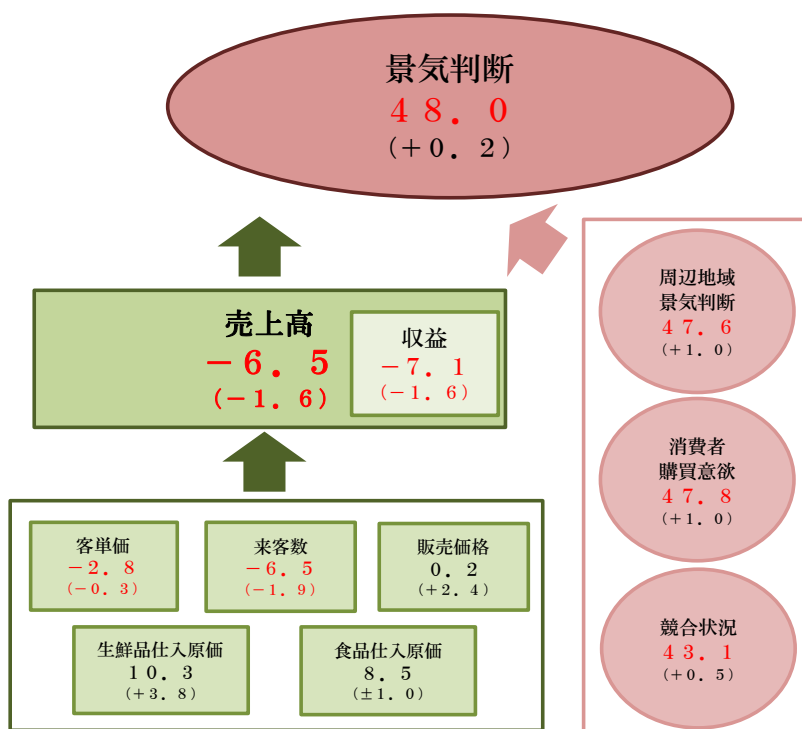
景気判断（現状判断 DI）は高水準を維持、見通しは弱含み

7月スーパーマーケット中核店舗における景気判断 DI は 48.0 と前月からほぼ横ばいで高水準を維持した。経営動向調査では、仕入原価 DI の上昇が目立ち、生鮮品仕入原価 DI は 10.3、食品仕入原価も 8.5 となっている。販売価格 DI も合わせて上昇し 0.2 となっている。売上高 DI、収益 DI は、共に小幅に下降となった。客単価 DI がほぼ横ばいで-2.8 での推移となった。

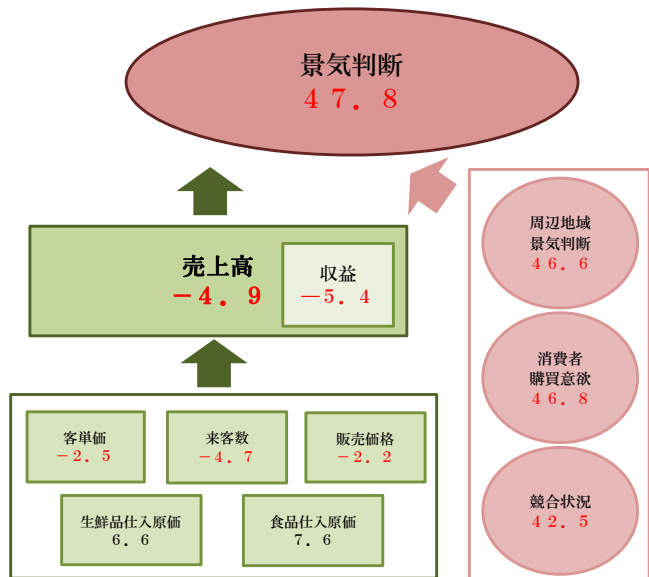
景況感調査では、現状判断 DI は前月からすべて小幅な上昇となっており、改善傾向が持続している。反面、見通し判断 DI は強弱入り混じる結果となっており、先行きに対しては慎重な見方も見え隠れしている。

7月は追い風に作用した気候要因だが、その後、各地で記録的な猛暑や局地的なゲリラ豪雨にみまわれており、これらが次月の動向にどのような影響を与えているか今後の動向を注視したい。

2013年7月 中核店舗における景況感・経営動向（速報版）



2013年6月 中核店舗における景況感・経営動向（確報版）



() 内は、前月 DI との増減（赤字は DI 減少）

景気動向調査コメント キーワード TOP 3

1. 天候要因(猛暑、冷夏、不安定)
2. 青果相場高
3. 土用丑の日

() 内は、前月 DI との増減（赤字は DI 減少）

6月調査確報版 集計企業数：265社
7月調査速報版 集計企業数：235社

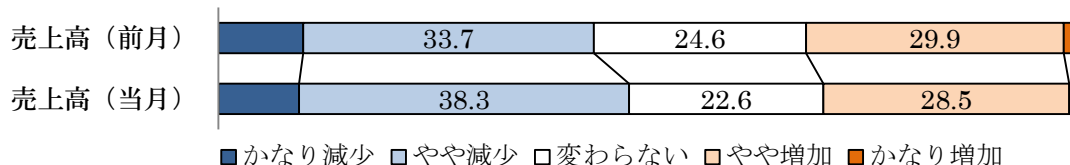
II. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

「やや減少」が小幅に増加（DIは小幅に下降）

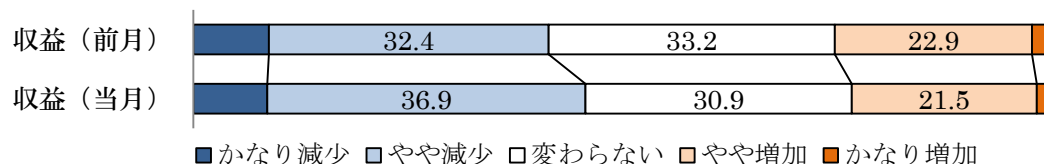
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	9.8	33.7	24.6	29.9	1.9	-4.9
売上高（当月）	9.4	38.3	22.6	28.5	1.3	-6.5



②収益 DI

「やや減少」が小幅に増加（DIは小幅に下降）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	8.8	32.4	33.2	22.9	2.7	-5.4
収益（当月）	8.6	36.9	30.9	21.5	2.1	-7.1



③生鮮仕入原価 DI

「やや増加」が大幅に増加し、「変わらない」が減少「やや減少」が小幅に減少（DIは上昇）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	1.2	9.3	53.3	34.7	1.5	6.6
生鮮仕入原価（当月）	0.0	6.1	47.8	44.8	1.3	10.3



④食品仕入原価 DI

「やや増加」が増加し、「変わらない」が小幅に減少（DIは変化なし）

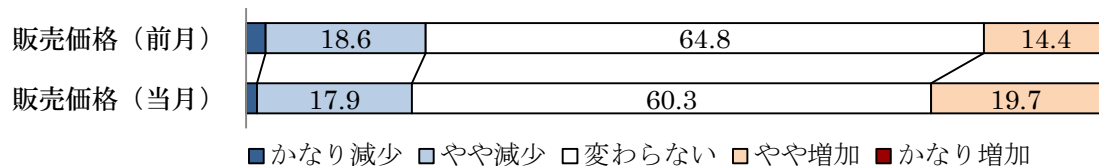
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	0.8	8.0	52.9	36.8	1.5	7.6
食品仕入原価（当月）	0.4	8.7	48.1	42.0	0.9	8.5



⑤販売価格 DI

「やや増加」が小幅に増加し、「変わらない」が小幅に減少（DIは小幅に上昇）

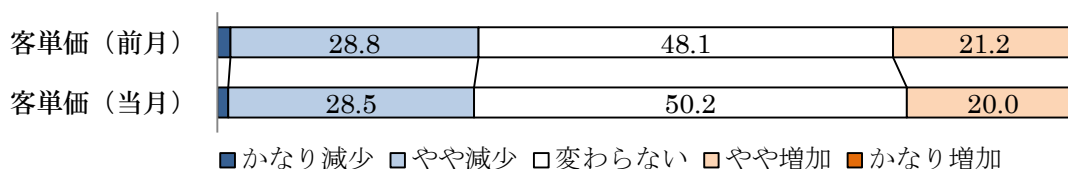
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	2.3	18.6	64.8	14.4	0.0	-2.2
販売価格 (当月)	1.3	17.9	60.3	19.7	0.9	0.2



⑥客単価 DI

回答構成比に変化なし（DIは変化なし）

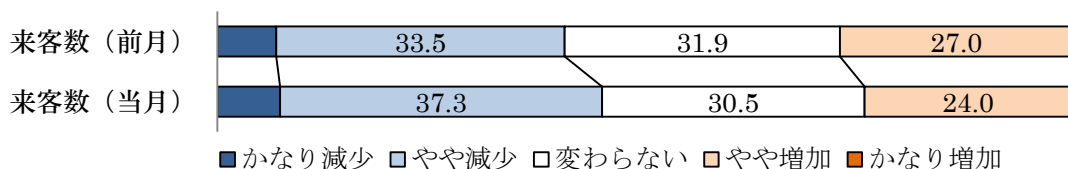
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	1.5	28.8	48.1	21.2	0.4	-2.5
客単価 (当月)	1.3	28.5	50.2	20.0	0.0	-2.8



⑦来客数 DI

「やや減少」が小幅に増加し、「やや増加」が小幅に減少（DIは小幅に下降）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	6.8	33.5	31.9	27.0	0.8	-4.7
来客数 (当月)	7.3	37.3	30.5	24.0	0.9	-6.5

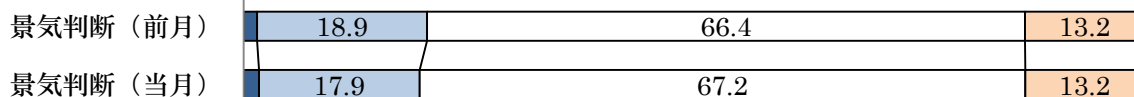


2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

①景気判断 DI

回答構成比に変化なし（DIは変化なし）

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	1.5	18.9	66.4	13.2	0.0	47.8
景気判断（当月）	1.7	17.9	67.2	13.2	0.0	48.0

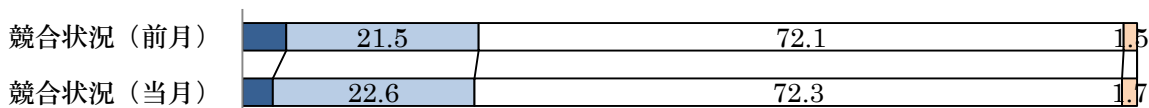


■かなり悪化 □やや悪化 □変わらない □やや改善 ■かなり改善

②周辺競合状況 DI

回答構成比に変化なし（DIは変化なし）

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	4.9	21.5	72.1	1.5	0.0	42.5
競合状況（当月）	3.4	22.6	72.3	1.7	0.0	43.1

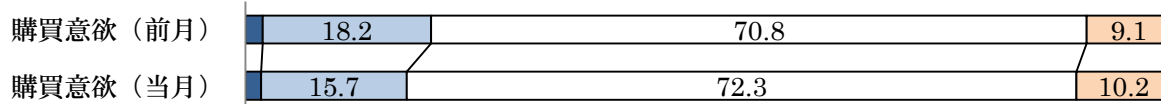


■かなり悪化 □やや悪化 □変わらない □やや改善 ■かなり改善

③消費者購買意欲 DI

回答構成比に変化なし（DIは小幅に上昇）

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	1.9	18.2	70.8	9.1	0.0	46.8
購買意欲（当月）	1.7	15.7	72.3	10.2	0.0	47.8

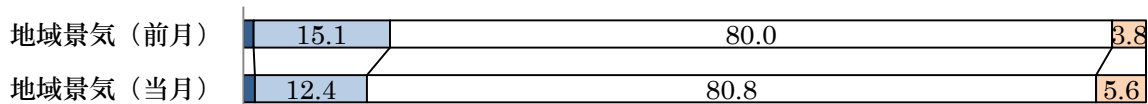


■かなり悪化 □やや悪化 □変わらない □やや改善 ■かなり改善

④周辺地域景気状況 DI

回答構成比に変化なし（DIは小幅に上昇）

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	1.1	15.1	80.0	3.8	0.0	46.6
地域景気（当月）	1.3	12.4	80.8	5.6	0.0	47.6

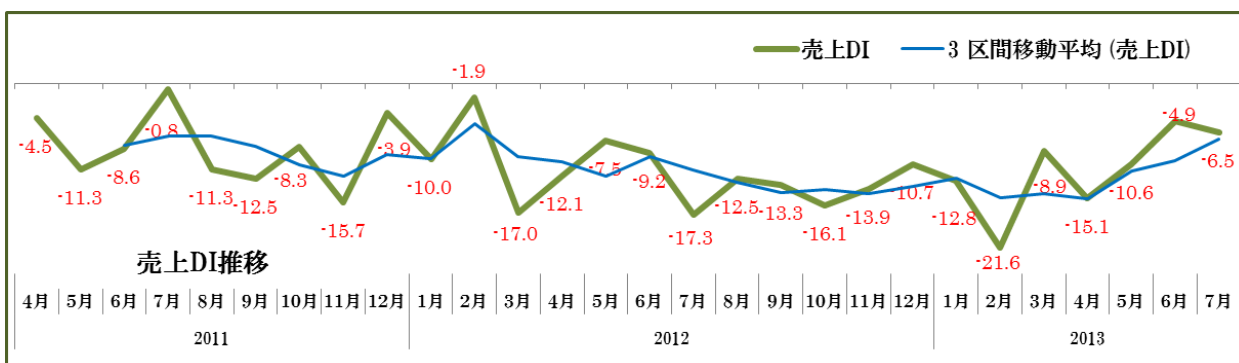


■かなり悪化 □やや悪化 □変わらない □やや改善 ■かなり改善

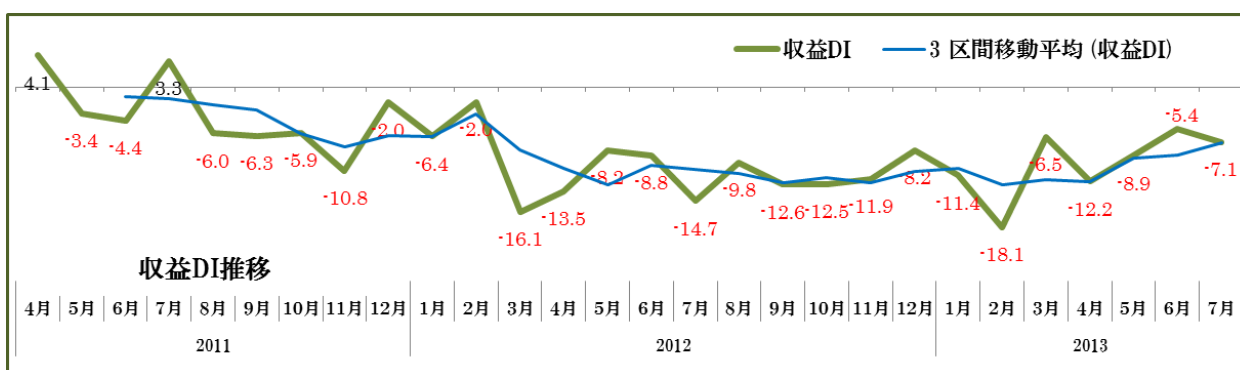
II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

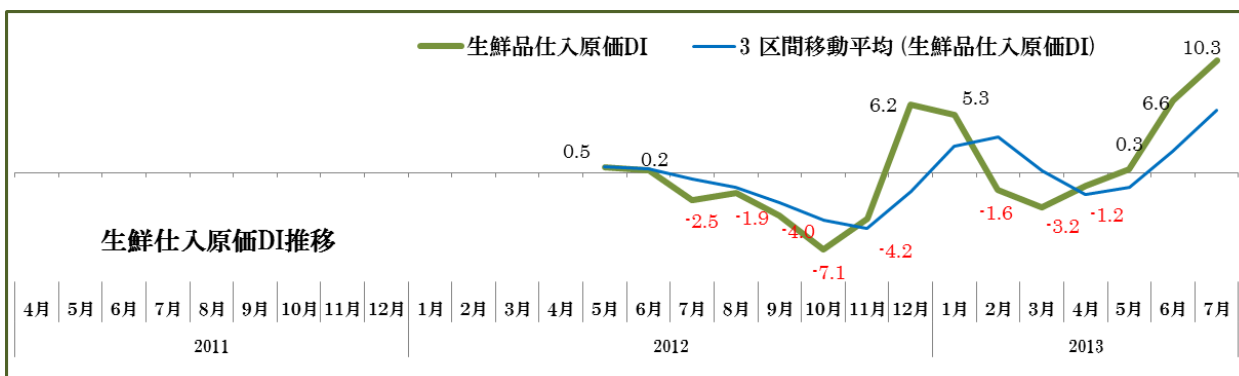
①売上高DI ゆるやかな改善傾向



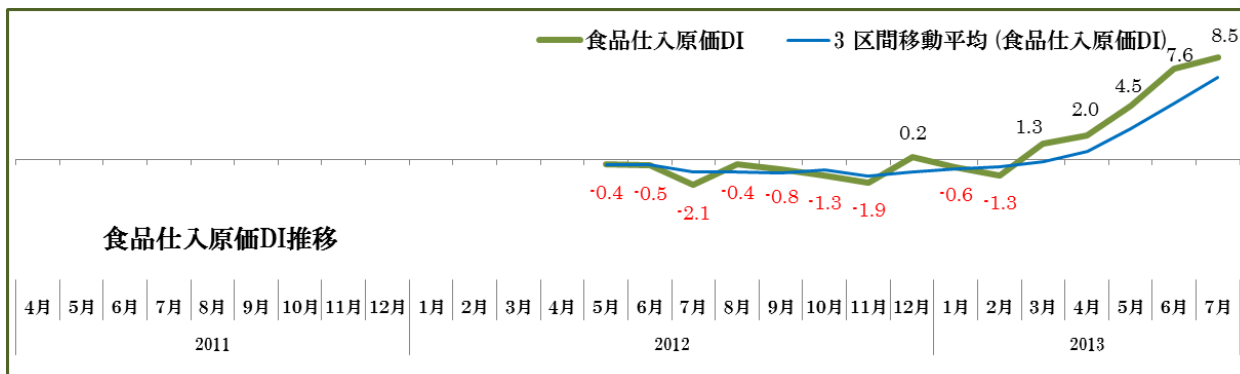
②収益DI ゆるやかな改善傾向



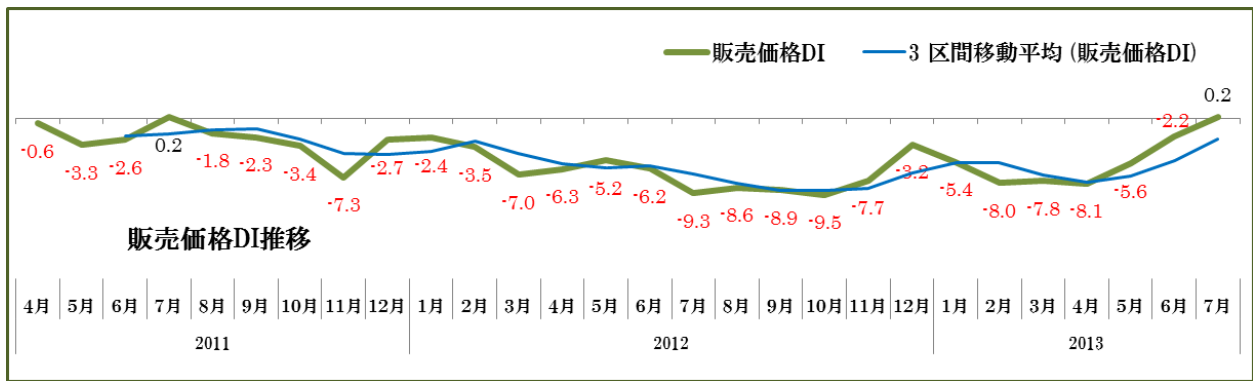
③生鮮仕入原価DI 上昇傾向



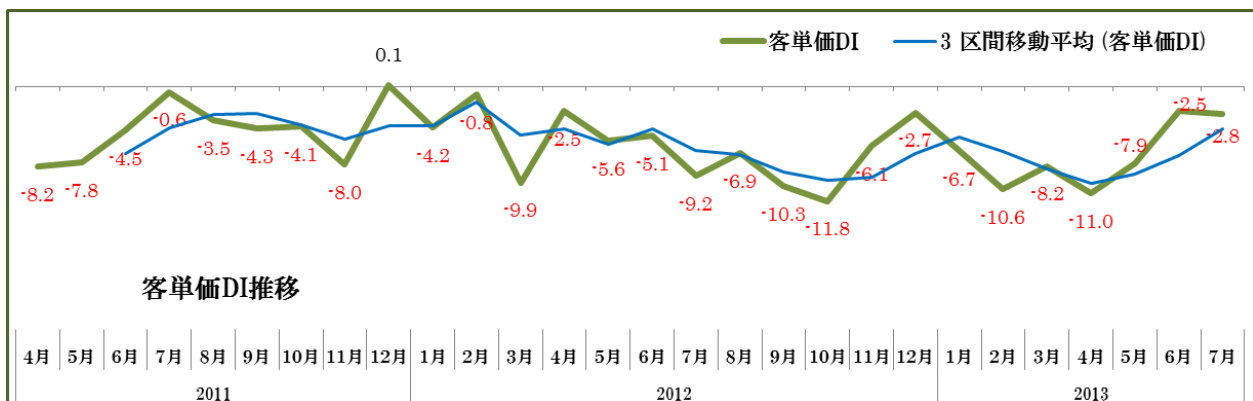
④食品仕入原価DI 上昇傾向



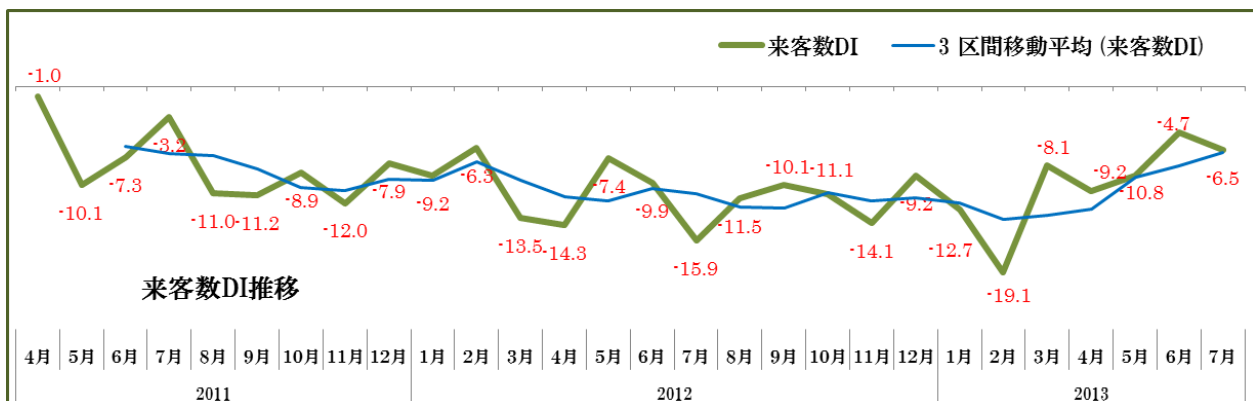
⑤販売価格 DI 直近はやや上昇傾向



⑥客単価 DI 直近はやや上向き



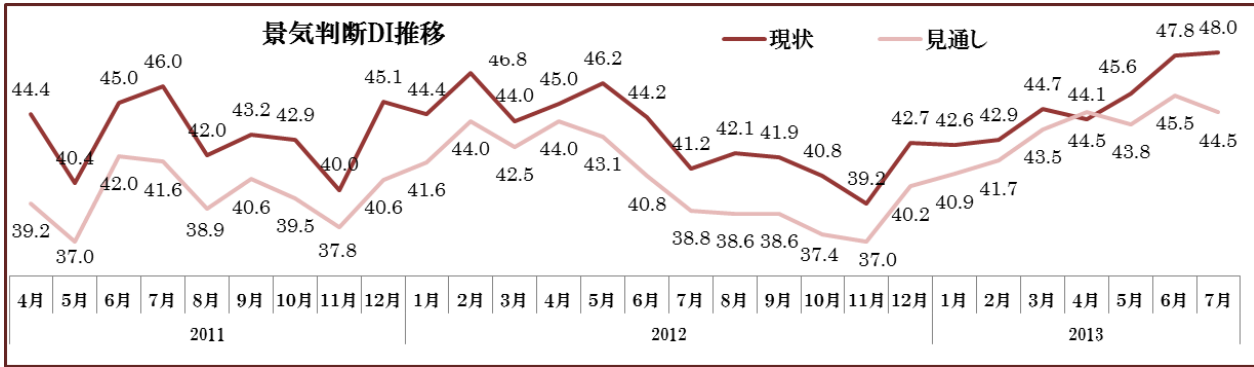
⑦来客数 DI ゆるやかに上向き傾向



2. スーパーマーケット景況感調査

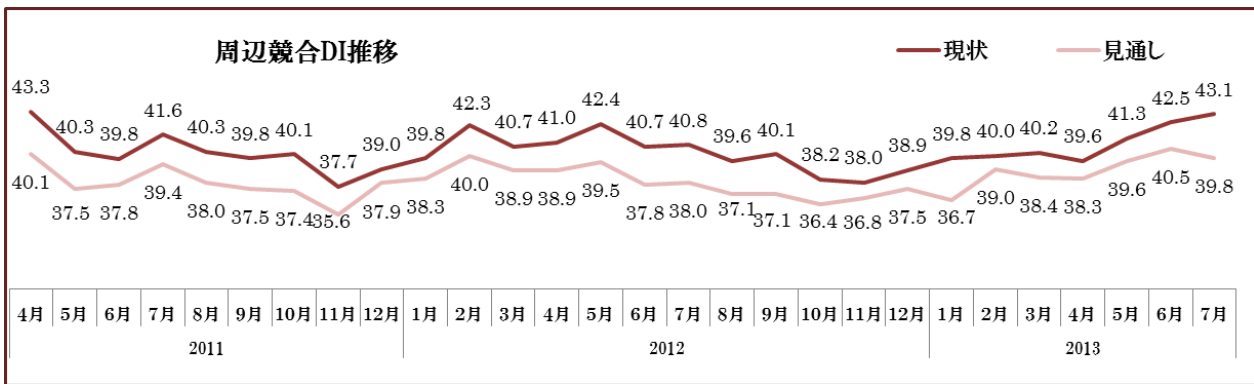
①景気状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断は高水準を維持、見通し判断は下降



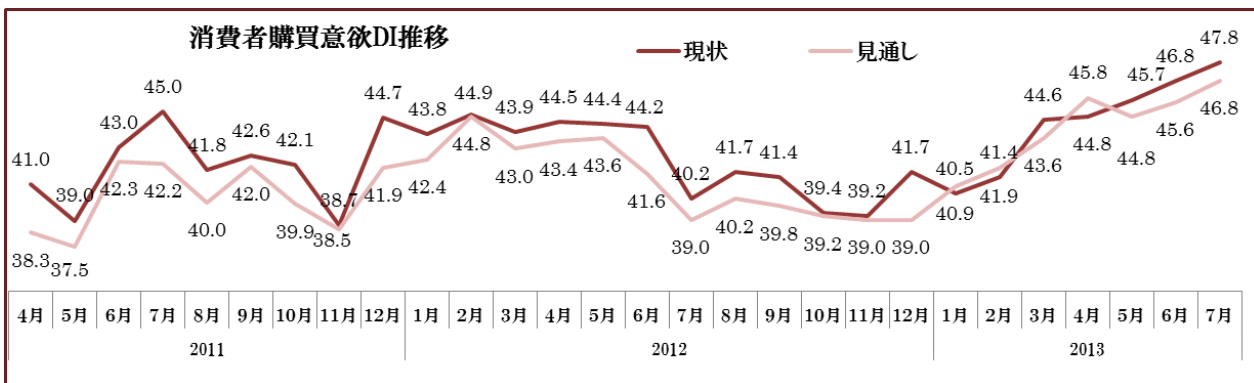
②周辺競合状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断改善傾向も、見通しは横ばい傾向が続く



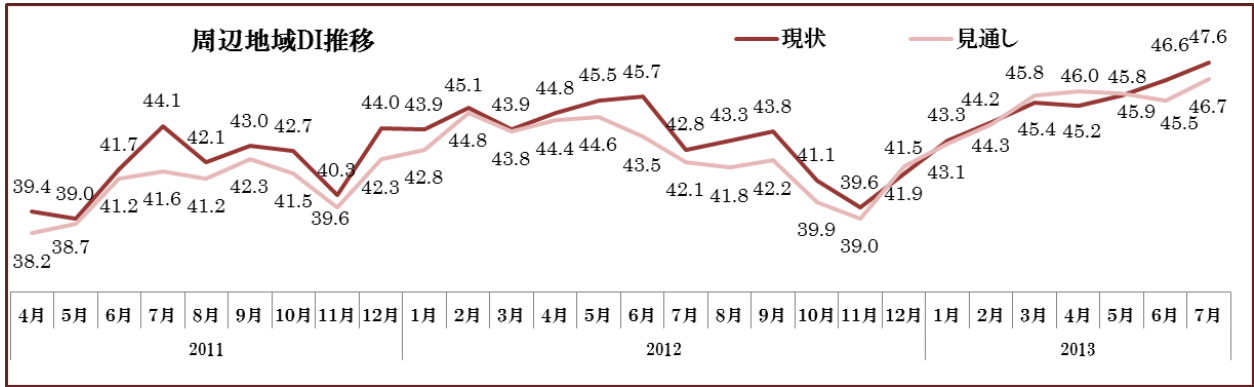
③消費者購買意欲 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断共に上昇



④周辺地域景気DI（現状判断・見通し）

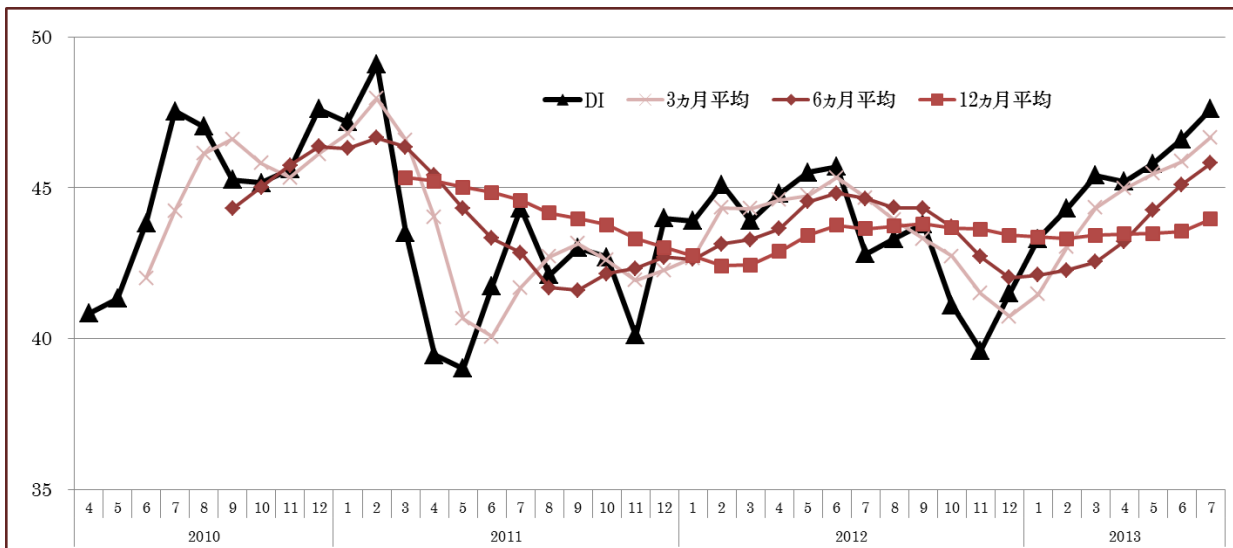
現状判断は上昇続く、見通し判断も持ち直す



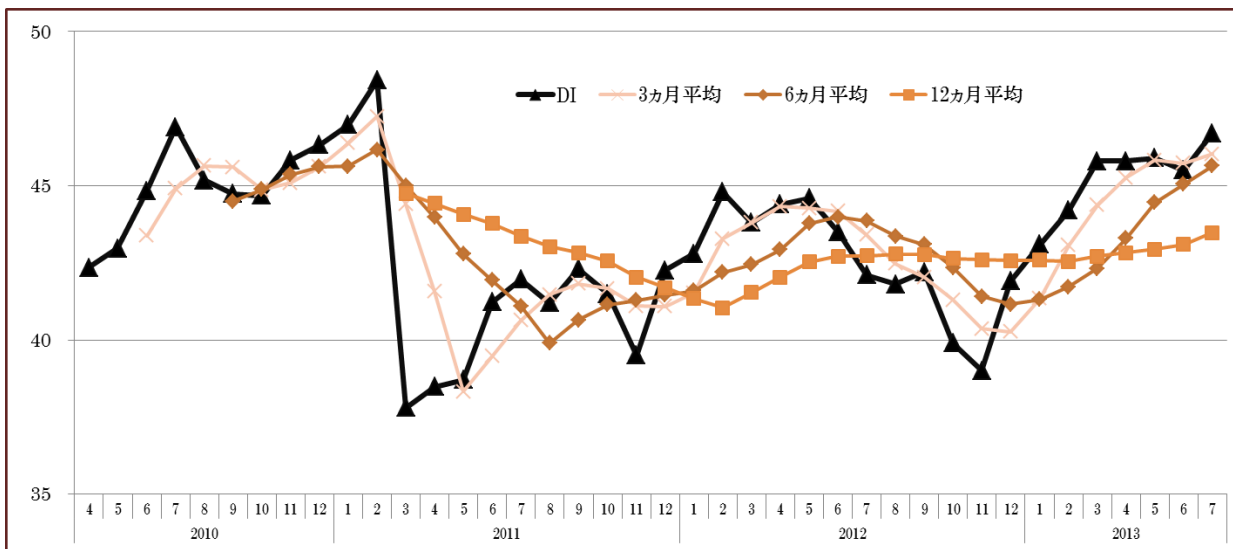
※移動平均（周辺地域景気DI 現状・見通し判断）

周辺地域の景気判断DI単月では、前月見通し判断で一旦頭打ち感がみられたものの、今月は再び上昇に転じた。これにより再び、すべての移動平均線で上向き傾向が顕著にみられている。これまでの、見通し判断が牽引する形での上昇から、現状判断が主導する上昇に変化している。東日本大震災前の2011年2月水準に近づいており、好不調判断の分かれ目となる50まで目前に迫っている。

①現状判断（中長期傾向）



②見通し判断（中長期傾向）

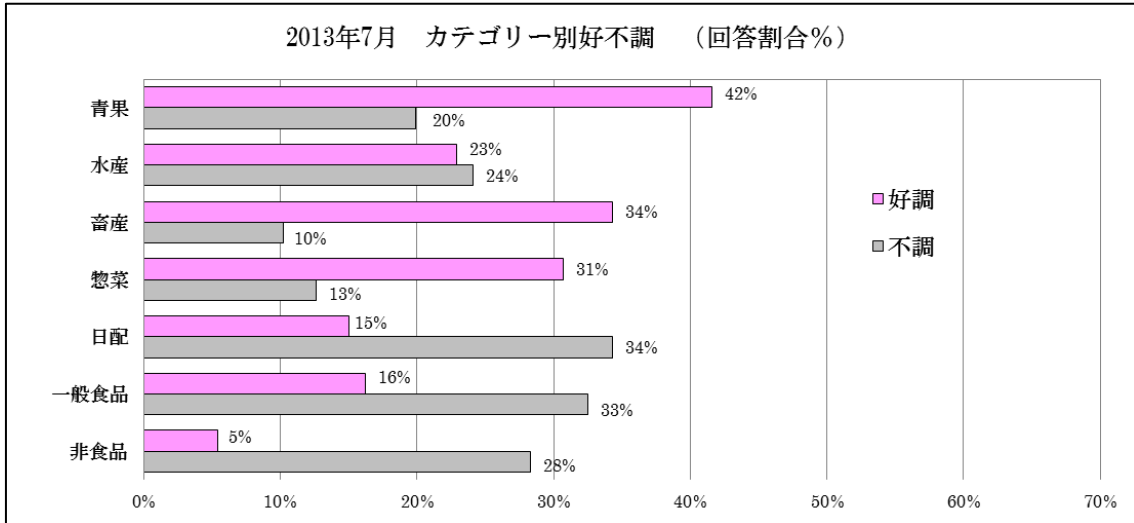


III. カテゴリー別動向

①好調カテゴリー・不調カテゴリー

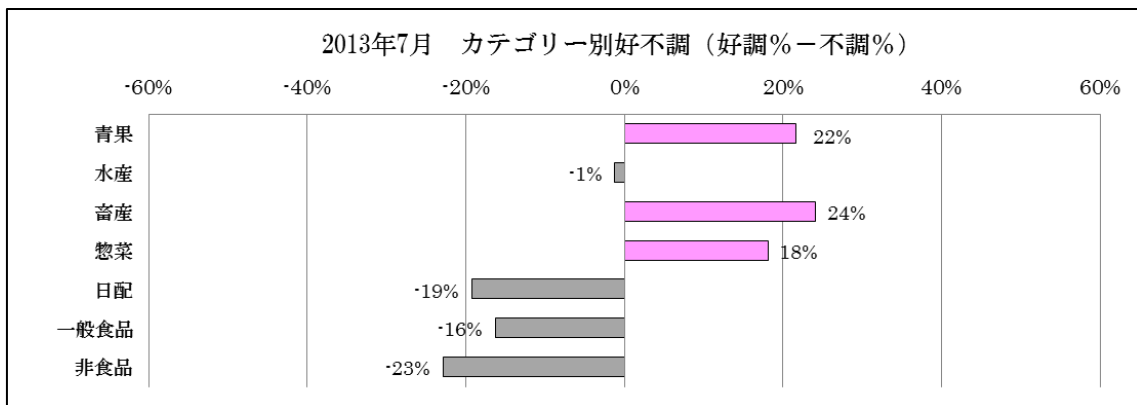
好調回答割合上位カテゴリー：①「青果」②「畜産」③「惣菜」

不調回答割合上位カテゴリー：①「日配」②「一般食品」③「非食品」



好調% > 不調%：①「畜産」②「青果」③「惣菜」

好調% < 不調%：①「非食品」②「日配」③「一般食品」



※N=173

②カテゴリー別主な好調・不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	季節商品、相場高による単価アップ	果物、相場高による販売不振
水産	うなぎ(鮮魚、塩干)	鮮魚
畜産	牛(焼肉商材)、豚	周辺競合
惣菜	揚げ物、焼鳥、品揃え強化	気温の低下(東北・北陸地方)
日配	アイスクリーム(洋日配)	パン、乳飲料、天候不順(東北・北陸地方)
一般食品	飲料(清涼飲料)	菓子、米、競合による価格競争
非食品	(おみやげ)	ドラッグストアとの競合、夏物商品(東北・北陸地方)

() は少数コメント